


一般質問通告書

次の通り質問したいので通告します。

平成 28年 2月 18日

山北町議会議長 府川 輝夫 殿

受付番号	第 7 号	質問議員	2番	藤原 浩	
件名	既存施設・事業を再整備して、にぎわいを取り戻し地方創生の一助とする考えは				
要 旨					
<p>山北町では、現在鉄道公園に設置されたD52を動態化整備し、2016年秋に公園内での運転を計画しており、多くの人の期待を集めています。当町には、D52以外にもその魅力が十分に活かされていない多くの施設や事業があります。今後圏域内の市町村と伍していくには、そういった施設を見直し、整備し、新たな視点で利活用し、まちなぎわいを取り戻すべきと考え質問します。</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1. 山北町環境整備公社隣にある「三保の家」は、湖底に水没した江戸時代末期の民家を移転復元したもので、無料見学施設で、有料の休憩所としても利用可能としている。しかし来場者数は非常に少なく、その価値が十分に活かされていない。施設については、神奈川県所有であるが、その利活用については町に委ねられていると聞く。近年古民家はそのレトロな佇まいから、一部では非常に人気を博している。しかし「三保の家」がそうであるように、ただ見学できるだけでは、その価値は活かせない。現在の、ただ眺めるだけの施設ではなく、イベントスペースとして民間で利活用できるように解放し、また来場者が体験できるスペースとして整備し、利活用を図るべきと考えるがどうか。</li><li>2. 山北町では、町域の9割を占める森林資源を活用し、町民や来訪者の健康増進と疾病の予防、地域振興を目指した取り組みとして、「森林ふれあい・健康セラピー事業」を進めてきた。そして平成23年3月、「森林セラピー基地」として認定されて以来毎年体験ツアー等を実施してきた。しかし現在では当初の目的を十分に果たせない方向に向かっているようかかえる。町は、当初の目的にある「町民や来訪者の健康増進と疾病の予防」を重視する方向で事業を見直し、それを礎に地域振興を目指した取り組みとすべきと考えるがどうか。</li><li>3. 現在鉄道公園では、D52 動態化整備が着々と進められており多くの期待を集めている。しかし今後の事業展開については、いくつかの懸念もある。新年度の予算にも、D52活用事業として重点プロジェクトにあげられている事もあり、その重要性を鑑み質問する。<ol style="list-style-type: none"><li>1) 鉄道公園は、数少ない地域の子ども遊び場として、親しまれている。今回D52動態化整備で、線路が延長され子どもが遊べるスペースが狭くなり、安心して利用しにくくなる恐れがある。今後、子どもの居場所として鉄道公園をどう活用していく考えか。</li><li>2) D52活用事業の成功には、今後の利活用案が不可欠である。そしてそのアイデア創出については、従来おこなわれている方法では難しいと考える。町の考えを伺う。</li></ol></li></ol>					